

愛知県生涯活躍づくりシンポジウム

シニアの力

生涯活躍社会の実現に向けて

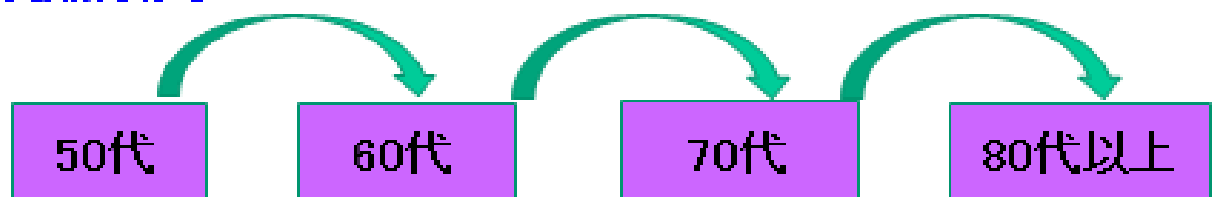
<2016年1月25日（月）>

有限会社アリア 松本すみ子

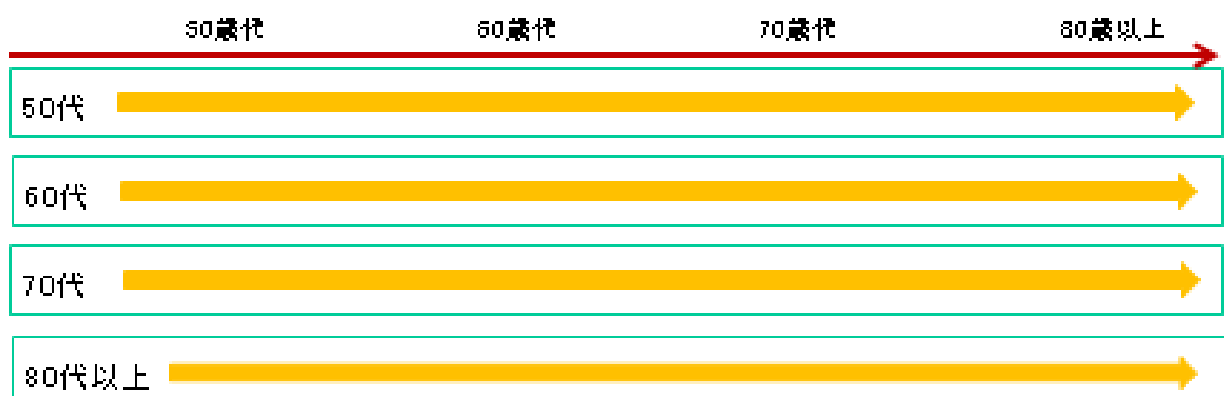
シニアライフアドバイザー/NPO法人シニアわーくすRyoma21

世代認識の誤解

◆誤解しがち



◆正しい理解



シニアも世代で異なる

- ◆健康寿命(自立した生活ができる生存期間):世界一
平均寿命:男性80.50歳(4位)、女性86.83歳(世界1位)
健康寿命:男性70.42歳、女性73.62歳、平均72.02歳(厚生労働省)

◆要介護等認定の状況

厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」(平成27年5月)より算出 単位:千人、()内は%

65～74歳		75歳以上	
要支援	要介護	要支援	要介護
246(1.4)	588(3.4)	1,437(9.0)	3,756(23.6)

※60代は親世代(80代以上)を介護する世代

- ◆60歳以上の高齢者に日常生活における介助等の必要度
(韓国、アメリカ、ドイツ及びスウェーデンの4か国と比較)
- ・日本「まったく不自由なく過ごせる」との回答は約9割で最も高い結果
- ・平成17(2005年)との比較:「全く不自由なく過ごせる」が4.8ポイント上昇

日本の標準世帯は「おひとりさま」

◆2013年

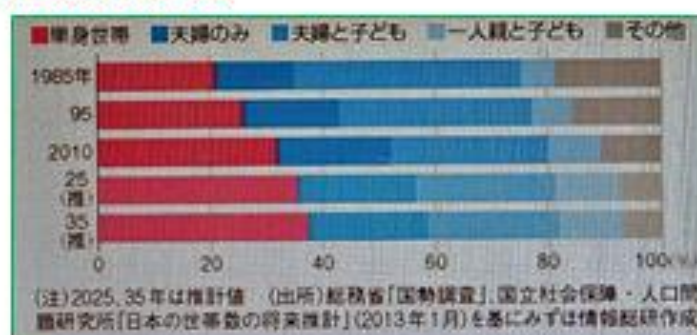
- ・標準世帯:夫婦に子供二世帯は全世帯の28%
- ・単身世帯:1679万世帯、総人口の13%。全世帯の32%
- ・65歳以上の単身世帯:600万人(高齢世帯の32%)

◆2030年

- ・標準世帯:24%、単身世帯:37%
- ・65歳以上の単身世帯:762万人(高齢世帯の37.7%)
- ・男性の単身化が加速:50代と60代男性の4人に1人は一人暮らしに

◆単身でも豊かに暮らせる環境・社会の実現

- ・日本は家族がいることが前提のため対策が整っていない
- ・商品、サービス、サポート体制の整備重要



時間持ち

◆生涯労働時間

10時間×250日×40年間=100,000時間

◆60歳~80歳の平均的な自由時間

睡眠時間	8時間	
生活基本時間	2時間30分	合計:10時間30分

24時間-10時間30分=13時間30分

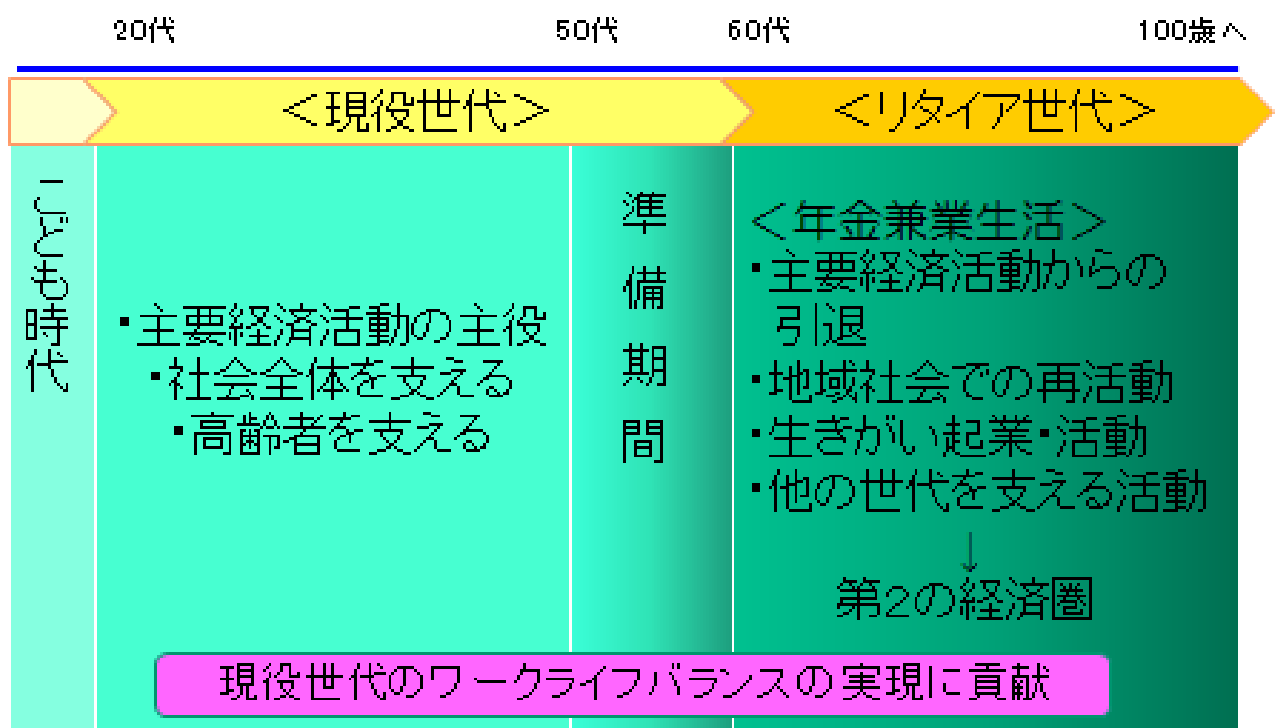
13時間30分×365日×20年=98,550時間

*生活基本時間は、食事、入浴、トイレなど

小金持ち

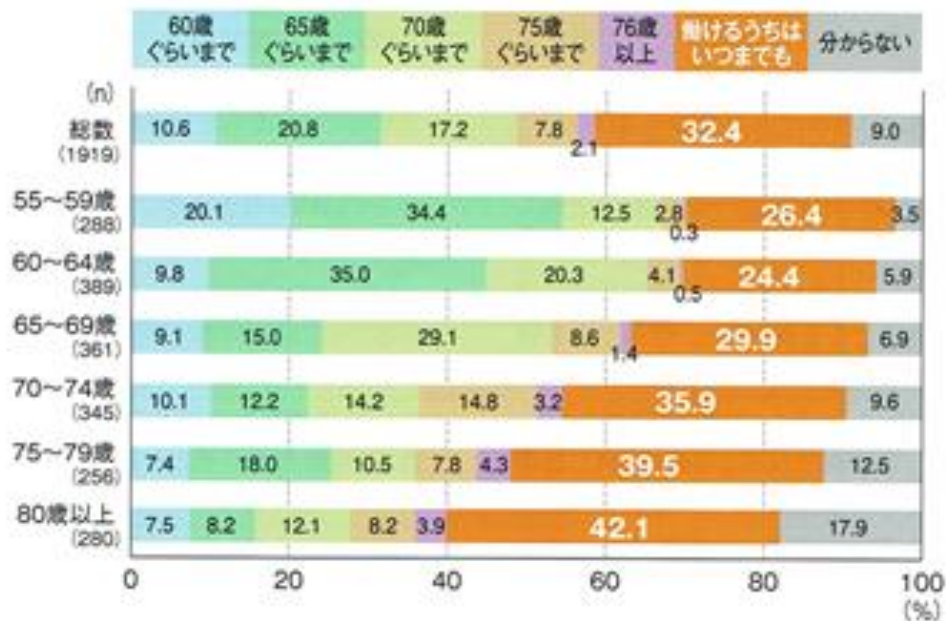
- ・100兆円超え(2011年) → 120兆円へ
- ・日本の個人消費の45%を占める(第一生命経済研究所)
- ・地域消費増大

人生二毛作時代へ



求む！生きがい

◆生涯現役志向:いつまで働きたい(活動したい)と思いますか？



内閣府平成24年度高齢者の健康に関する意識調査

— アリア —

7

地域の生きがい活動

◆無償ボランティア

◆有償ボランティア

◆社会貢献的起業:

ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス

地域で役立つことで活動して、収入を得、社会を支える。

①NPO(特定非営利活動)法人:全国約45,000組織以上

②一般社団法人:所轄庁の認証なしで登記

③ワーカーズ・コレクティブ、ワーカーズコープ、協同事業

働き手自らが出資し、経営を行うグループや事業体

④自治体との協働事業、パブリックビジネス

◆働く:再雇用、個人事業主、起業

— アリア —

8